

本書 第1刷（2014年6月2日発行）の94・95ページに欠落部分がございました。  
お詫びいたしますとともに、下記のとおり「回答欄」（右上）を追加いたします。

### 【快感症】《敏感度指数 = 6から 10 の間》

このタイプのあなたは、周囲の環境の変化を敏感にとらえたり、他人の気持ちを理解したりするのが上手だといえます。新しい環境にも慣れるのが早く、初めての人ともうまくやつていくことができます。

気配り上手で、人あしらいのうまい人。「あの人にまかせておけば、先方に失礼にならないだろう」と頼りにされる人。こんな評価を得ているに違いありません。

これが行き過ぎると、誰にでもいい顔をする「八方美人」だと思われることもあります。

### 【不惑症】《敏感度指数 = 5以下》

このタイプのあなたは、周囲の変化や他人の気持ちに関心がなく、何事もマイペースでやっていく傾向が高いといえます。どんな場合でも、自分が思うように振る舞ったり、考えたりすることができるわけですから、**ストレス**は少ないでしょう。ただ、新しい環境や、新しい人間関係の中では、ひとりよがりの言動だけでは成り立ちません。身辺の出来事にもっと敏感に反応してもよさそうです。

## 解説

問い合わせ	回答欄													○合計		
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
○印をつける	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)	○合計
	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)	(1)	

上の列について○の数が、あなたの敏感度指数です。

### 【過敏症】《敏感度指数 = 11以上》

このタイプのあなたは、常に周囲の状況を考えて、自分の行動を決めていくこうとする傾向が高いといえます。人間関係では相手を不愉快にさせないように、あれこれ気配りをします。また、多くの人の前では、自分の魅力をアピールするために、ちょっとオーバーな演技をしたり、おおげさな話をしたりすることがあります。

こういった点からすると、一見新しい環境に適応しやすいといえそうですが、じつは自分自身が他人の言動に振り回されるので**ストレス**を受けやすい、と考えられます。また、行き過ぎると、他人から、優柔不断で主義主張のない人物だととられることもあります。